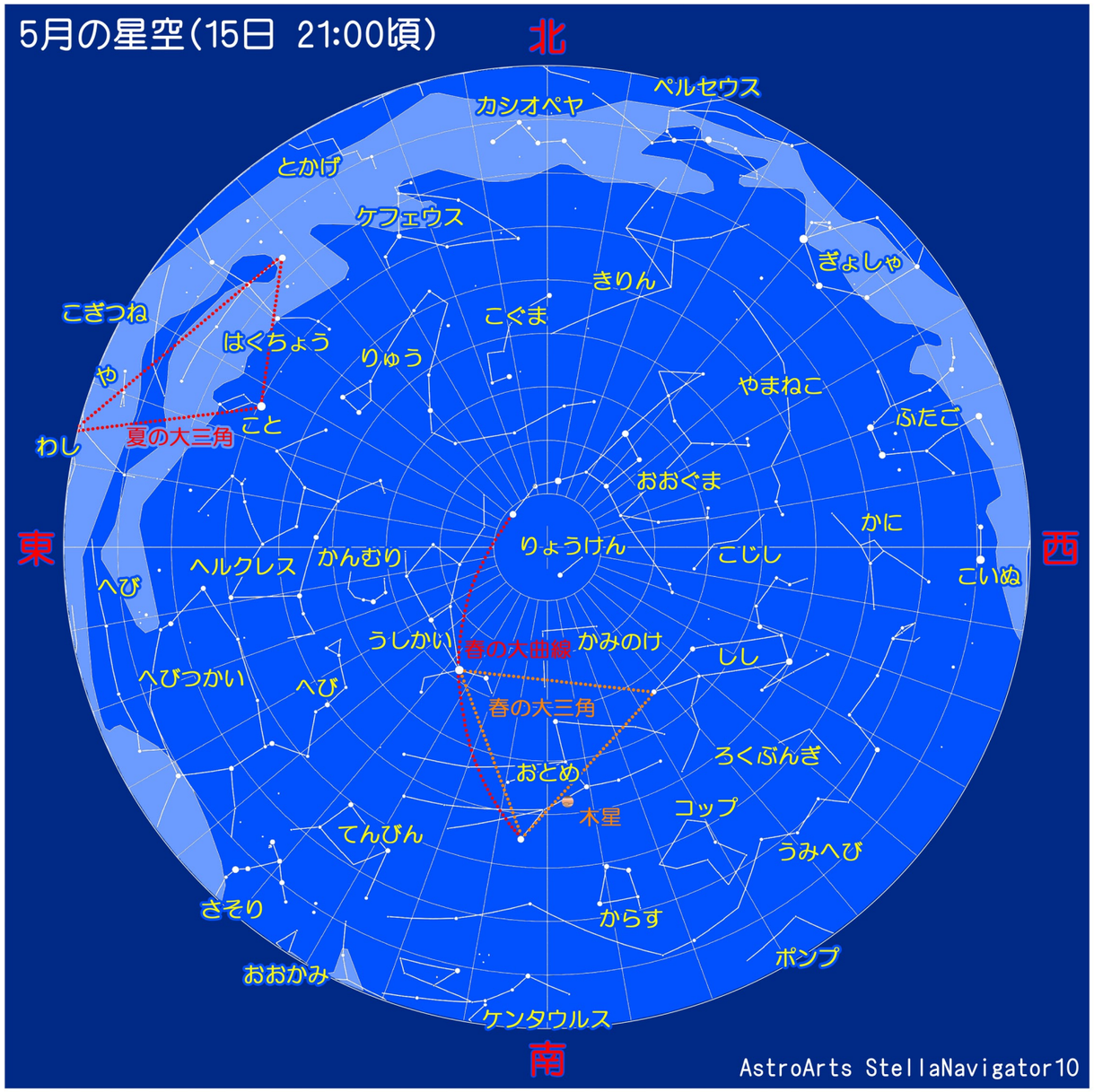
銀河の森天文台
2017年5月のみどころ天体情報



今月のイチオシ！

☆木星

太陽系最大の惑星である木星は、表面の縞模様が特徴的です。この縞模様はアンモニアの雲によるものと考えられています。また大赤斑と呼ばれる赤い楕円形の模様は巨大な台風のようなものと考えられており、発見されてから300年以上も木星の表面に存在し続けています。また木星の衛星の一つエウロパには生命の存在が期待されています。

太陽からの距離：約7億7800万km

木 星

月

		出	没
3日	◐上弦	10:34	00:22
11日	○満月	18:43	04:35
19日	◑下弦	00:11	10:57
26日	●新月	04:20	19:13

天文台から月を見ることができるのは1～13日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

M51（銀河）

銀河の渦巻の腕の先に小さな銀河（NGC5195）を伴っていることから、子持ち銀河という愛称で呼ばれています。月明りのない夜には2つの銀河が実際につながている様子を見ることができます。

距離：約2100万光年

M3（球状星団）

明るい見事な球状星団でうしかい座のアルクトゥールスとりょうけん座のコル・カロリの中間あたりに位置しています。密集度が高いために、双眼鏡では恒星と区別がつきにくいかもしれません。

距離：約3万3900光年

M97（惑星状星雲）

ぼんやりと見える丸い光の中に暗い部分が２つありその様子がふくろうの顔を連想させることから「ふくろう星雲」と呼ばれています。北斗七星のひしゃくの底部分の星（β星）のすぐ横に位置しています。

距離：約1800光年

M13（球状星団）

北天で最も明るい球状星団で、位置さえ知っていれば双眼鏡でも簡単に見つけることができます。望遠鏡では、中心部まで星が密集した見事な姿を観察することができます。

距離：約2万5100光年

M104（銀河）

形がソンブレロ帽子に似ている事から「ソンブレロ銀河」と呼ばれています。これまでは渦巻銀河を横から見たものと考えられていましたが、近年の観測から円盤状の構造を持つ楕円銀河であると考えられています。

距離：約4600万光年

コル・カロリ（重星）

りょうけん座を形作る２つの星のうち、明るい方がコル・カロリです。春のダイヤモンドの一番北に位置する星でもあります。

白色の2.9等星のそばに薄紫色の5.5等星が寄り添った美しい二重星です。

距離：約120光年

ちょっとマニア

• NGC4631（銀河）

りょうけん座に位置する銀河で、若干ゆがんだ形がくじらに似ていることから「くじら銀河」と呼ばれています。望遠鏡では伴銀河のNGC4627も一緒に見ることができます。

距離：約3000万光年

その他おすすめ

- M53（球状星団）
- M64（銀河）
- Mel111（散開星団）
- アルクトゥール（恒星）
- アルギエバ（重星）
- ラスアルゲティ（重星）

5・6月の銀河の森天文台カレンダー

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日